

演習 I(能動学習)

1 単位 (必修) 1 年, 2 年, 3 年, 4 年, 5 年, 6 年

演習 I(能動学習)

土屋 浩一郎・教授 / 薬学科 臨床薬学講座 医薬品機能生化学, 東 満美・准教授 / 薬学部, 山崎 哲男・教授 / 薬学科 臨床薬学講座 医薬品病態生化学

山内 あい子・教授 / 薬学科 臨床薬学講座 医薬品情報学

【授業目的】 専門的な知識, 技能はもとより豊かな人間性と高い生命倫理観を持った医療人としての薬剤師を目指すために, 大学の中だけでなく能動的に集団研修, 自己研修を重ねて自主的に問題を発見し, 解決する能力を身につけることを目的とする。

【授業概要】 授業では①専門的な知識, 技能を自ら修得するために薬学的な研修会に参加することの重要性および②豊かな人間性と高い生命倫理観を持った医療人としての薬剤師を目指すために多くの人たちとの交流が必要であることを講義した後, 学生諸子は自主的に選択, 学習をする必要性を理解して研修に参加し(集合研修), またボランティア, 介護体験, 看護体験等を経験することで自己研修を積み, 得たことを発表する。

【授業形式】 演習

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 専門的な知識, 技能はもとより豊かな人間性と高い生命倫理観を持った医療人としての薬剤師になり, 生涯にわたり自ら学習することを続けてもらいたい。

【到達目標】 参加した集団研修又は自己研修において自主的に発見した問題点をどのようにして解決したかを発表することが出来る。

【授業計画】

1. 学生は提供された集合学習メニュー, 自己研修メニューの中から自らの判断でメニューを選択し研修を行う。

【成績評価】 1. ポイント制を導入する。L 集合研修(研修会, 講演会等参加):90 分で1ポイント L 自己研修(実習研修, 体験実習等参加):基準は1日(実働8時間程度)で2ポイント L 卒業までに合計20ポイント以上で, 演習単位1単位とする。L2. 該当するメニューは担当教員が予め選定する。L3. ポイントは研修参加のうえレポート提出等をもとに付与する。

【再試験】 実施しない。

【教科書】 適宜指示

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217171>

【連絡先】

⇒ 土屋 (薬物機能制御学講座, 088-633-7250, tsuchiya@ph.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (オフィスアワー: 特に設けていませんが, Eメールで連絡頂ければ調整します。)

⇒ 東 (088-633-7835, azuma@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL

演習 I(能動学習)

1 unit (compulsory) 1st-year, 2nd-year, 3rd-year, 4th-year, 5th-year, 6th-year

Koichiro Tsuchiya · PROFESSOR / MEDICAL PHARMACOLOGY, CLINICAL PHARMACY, PHARMACEUTICAL SCIENCES, Mami Azuma · ASSOCIATE PROFESSOR / FACULTY OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

Tetsuo Yamazaki · PROFESSOR / MOLECULAR CELL BIOLOGY AND MEDICINE, CLINICAL PHARMACY, PHARMACEUTICAL SCIENCES, Aiko Yamauchi · PROFESSOR / PHARMACEUTICAL INFORMATION SCIENCE, CLINICAL PHARMACY, PHARMACEUTICAL SCIENCES

Target 専門的な知識、技能はもとより豊かな人間性と高い生命倫理観を持った医療人としての薬剤師を目指すために、大学の中だけでなく能動的に集団研修、自己研修を重ねて自主的に問題を発見し、解決する能力を身につけることを目的とする。

Outline 授業では①専門的な知識、技能を自ら修得するために薬学的な研修会に参加することの重要性および②豊かな人間性と高い生命倫理観を持った医療人としての薬剤師を目指すために多くの人たちとの交流が必要であることを講義した後、学生諸子は自主的に選択、学習をする必要性を理解して研修に参加し(集合研修)、またボランティア、介護体験、看護体験等を経験することで自己研修を積み、得たことを発表する。

Style Exercise

Keyword [キーワード]

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Notice 専門的な知識、技能はもとより豊かな人間性と高い生命倫理観を持った医療人としての薬剤師になり、生涯にわたり自ら学習することを続けてもらいたい。

Goal 参加した集団研修又は自己研修において自主的に発見した問題点をどのようにして解決したかを発表することが出来る。

Schedule

1. 学生は提供された集合学習メニュー、自己研修メニューの中から自らの判断でメニューを選択し研修を行う。

Evaluation Criteria 1. ポイント制を導入する。L 集合研修(研修会、講演会等参加):90分で1ポイント L 自己研修(実習研修、体験実習等参加):基準は1日(実働8時間程度)で2ポイント L 卒業までに合計20ポイント以上で、演習単位1単位とする。L2. 該当するメニューは担当教員が予め選定する。L3. ポイントは研修参加のうえレポート提出等をもとに付与する。

Re-evaluation 実施しない。

Textbook 適宜指示

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217171>